



よかボラ通信 第25号

(令和4年6月)



紫陽花が色鮮やかに咲く季節となりました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。
5月20日に、新型コロナ対策でのマスク着用についての政府の考え方が公表されました。
別紙をご確認ください。

ボランティア活動可能な受入施設を紹介します

興味のある施設がある方は協議会事務局（0942-35-1525）にご連絡ください。

※状況によって受入内容を変更している場合もありますので、あらかじめご了承ください。

指定番号	施設名	住所	活動内容
36	特別養護老人ホーム 銀の庵 (地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護事業所)	北野町十郎丸1529-2	①②③④⑤⑥⑦⑧
69	デイサービス アルカディア (通所介護)	宮ノ陣4丁目30-10	①②③④⑤⑥⑧
30	楠病院 くすデイケアセンター (通所リハビリテーション)	日吉町115	①②④⑤⑧
112	あったかHOME-にしかいー (小規模多機能型居宅介護事業所)	西町709-1	①②③④⑤⑧
156	高齢者複合サービス事業所 サン・コスモス (小規模多機能型居宅介護事業所)	国分町1171-1	①②④⑤⑥⑦
23	よあけデイサービス (通所サービス)	大善寺町夜明839-2	①②③④⑤⑥
74	ふれあいの園デイサービスセンター (通所サービス)	城島町上青木165	①②③④⑤⑧

【活動内容】

- ①レクリエーション支援 ②話し相手 ③芸能等披露 ④行事等の手伝い ⑤お茶出し・配膳等
⑥散歩等の補助 ⑦洗濯等補助 ⑧清掃・草刈り等
⑨地域包括センターが実施・関与する介護予防活動の運営補助

基本的な 感染対策

- ・人と人との距離の確保
- ・マスクの着用
- ・手洗い等の手指衛生
- ・換気
- ・「三つの密」の回避
 1. 密閉空間（換気の悪い密閉空間である）
 2. 密集場所（多くの人が密集している）
 3. 密接場面（互いに手を伸ばしたら手が届く距離での会話や発声が行われる）

今後、ボランティア活動の受入状況を含めた受入機関一覧の更新を予定しています。
秋ごろ皆さんにお届けする予定です。お楽しみに！

熱中症を防ぐためには、 それぞれの場所に応じた対策を取ることが重要です。

熱中症患者のおよそ半数は65歳以上の高齢者です

高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能やからだの調整機能も低下しているので、注意が必要です。

暑さを避ける、身を守るために

室内では

- ・扇風機やエアコンで温度を調節
- ・遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用
- ・室温をこまめに確認
- ・WBGT値※も参考に

屋外では

- ・日傘や帽子の着用
- ・日陰の利用、こまめな休憩
- ・天気の良い日は、日中の外出をできるだけ控える

からだの蓄熱を避けるために

- ・通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服を着用する
- ・保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす

※WBGT値

気温、湿度、輻射(放射)熱から算出される暑さの指数 運動や作業の度合いに応じた基準値が定められています。環境省のホームページ(熱中症予防情報サイト)に、観測値と予想値が掲載されています。



こまめに水分を補給する

室内でも、屋外でも、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分・塩分、スポーツドリンクなどを補給する。



高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、 熱中症のリスクが高くなるおそれがあります。

- ・体調に応じて、屋外で人と十分な距離(少なくとも2 m以上)が確保できる場合には、マスクを着用する必要はありません。
- ・マスクを着用する場合には、強い負荷の作業や運動は避け、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給を心がけましょう。

※同封のチラシもご確認ください。

(▷厚生労働省 熱中症を防ぐために知っておきたいこと)

《ボランティアの皆さまへお願い》

活動を希望される方、住所や電話番号を変更された方、要介護認定等を受けられた方は、下記協議会までご連絡ください。

【発行・問合せ】特定非営利活動法人 久留米市介護福祉サービス事業者協議会 事務局
電話：0942-35-1525 / FAX：0942-46-5841 (月～金10:00～17:00)